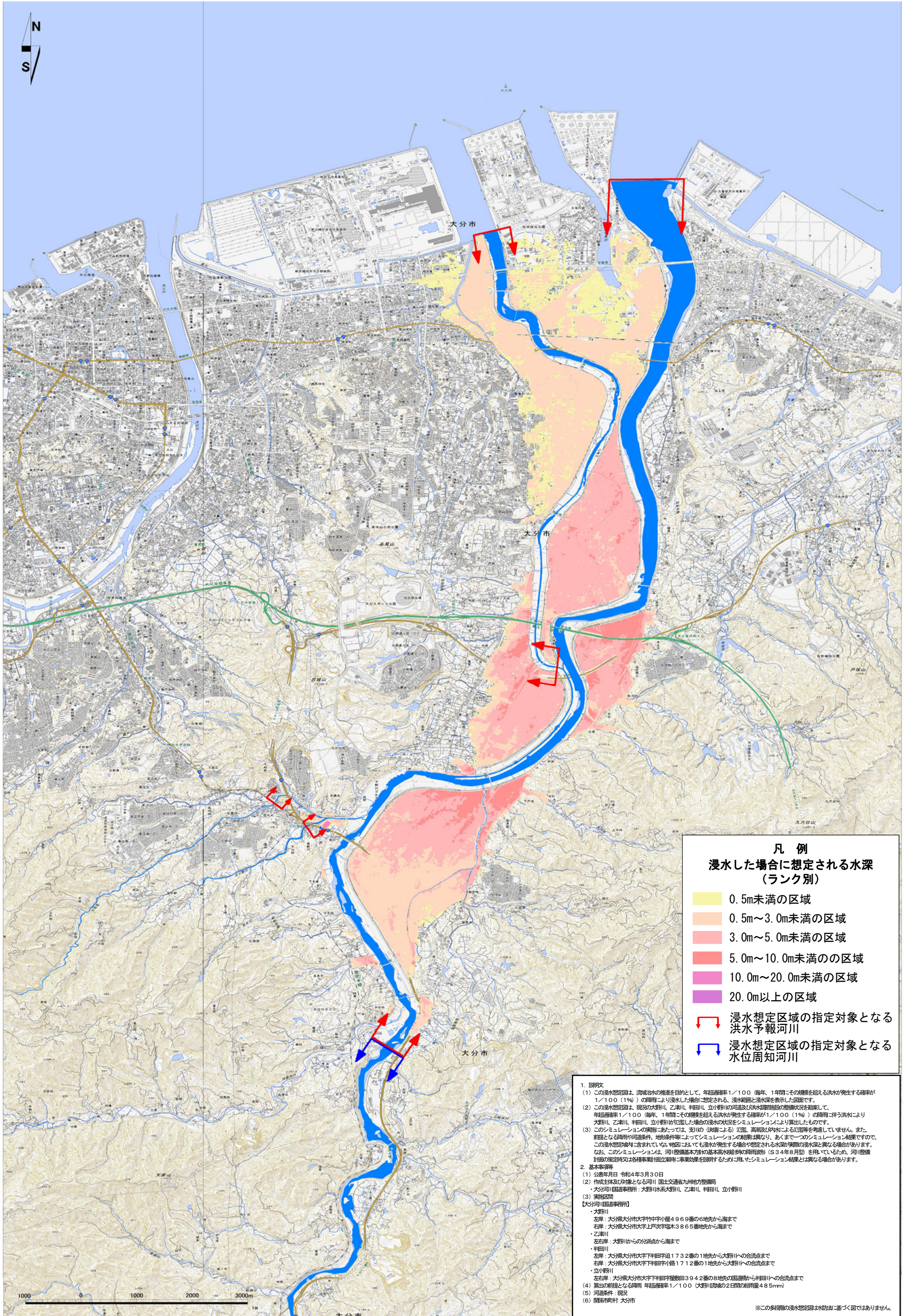


大野川水系 国管理河川の浸水想定図（1/100規模降雨） 【現況河道】



凡例
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

↔ 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川
↔ 浸水想定区域の指定対象となる水位周知河川

1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、毎年度確率1/100（毎年、1年間ごその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、現況の大野川、乙訓川、半田川、立小野川の河床及び洪水調節施設の現況を基礎として、毎年度確率1/100（毎年、1年間ごその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により大野川、乙訓川、半田川、立小野川に想定された場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの算出にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河床条件、地形条件等によってシミュレーションの算出結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図が含まれていない地域においても浸水が発生する可能性や想定される浸水深が算出結果の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水（基本高水）の降雨（S34年8月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画の策定時と異なる結果を算出する可能性があります。シミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和4年3月30日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 ・大分河川国道事務所：大野川水系大野川、乙訓川、半田川、立小野川
 (3) 実施期間
 【大分河川国道事務所】
 ・大野川
 左岸：大分県大分市大字中野小里4969番の6地先から海まで
 右岸：大分県大分市大字上野大字路木3865番地先から海まで
 ・乙訓川
 左岸：大野川からの分岐点から海まで
 ・半田川
 左岸：大分県大分市大字下野田字宇田1732番の1地先から大野川への合流点まで
 右岸：大分県大分市大字下野田字小野1712番の1地先から大野川への合流点まで
 ・立小野川
 左岸：大分県大分市大字下野田字野田3942番の8地先の国道から半田川への合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 毎年度確率1/100（大野川1日後の2日間の総雨量4.85mm）
 (5) 河道条件：現況
 (6) 更新周期：大分市

※この多段階の浸水想定図は河川法に基づき図ではありません。

【国土地理院の電子地形図25000『野津原』『戸次本町』『大分』『鶴崎』『別府東部』『家島』を掲載】
 『測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R.3.Jis.1020』